

黒部市議会 議会運営委員会 行政視察 報告書

月日：令和元年 6 月 26 日（水）～28 日（金）

場所：①神奈川県秦野市

「議会運営の取り組み」（ICT 化、議場でのスクリーン等の活用について）

②千葉県我孫子市

「議会運営の取り組み」（議員定数等に関する市民アンケート調査について）

③千葉県柏市

「議会運営の取り組み」

（議員の自由討議、議場での資料映像、スクリーンの活用について）

目的：議場でのスクリーン活用、市民アンケート調査など、市民により分かり易い議会を学ぶ。

参加者：小柳勇人、高野早苗、新村文幸、辻泰久、橋本文一、伊藤景治、木島信秋、成川正幸

報告者：成川正幸

視察内容：

①神奈川県秦野市

「議会運営の取り組み」（ICT 化、議場でのスクリーン等の活用について）

○市議会の概要

議員定数 24 人、会派 6 つ

○主な議会改革

H21 年 3 月 議会活性化特別委員会

H23 年 7 月 委員化設置

H27 年 5 月 議会報告会開催

H27 年 6 月 議長 2 年制、立候補制や所信表明

H28 年 11 月 議会報告会 3 会場

H29 年 4 月 災害時行動マニュアル作成

○タブレット端末導入

市民に親しまれる議会改革 議長からタブレット、大型スクリーン提案

一般質問 46.5%がタブレット端末使用。

○導入の効果

- ① グラフ写真を利用することで論点が明確化で市民にもわかりやすくなった。
- ② 分かり易い資料作成
- ③ 計画や資料要求データなど、最新情報の共有化につながっている。

- ④ メールによる連絡
- ⑤ 現場写真を執行部に

○導入の課題

- ① 議員平均年齢が高く、使いこなすのが難しい。
- ② 議事録作成時に「あれは」「これは」が
- ③ ICT 関連の業務が多くなっている
- ④ ペーパーレス化を実現するにはまだまだ。

○主な質疑

Q:大型スクリーンの使用率は。タブレットは。

A:6割ぐらい。タブレットを全く使っていない人が2名ぐらいいるとみている。

Q:個人で作ったデータの確認は。

A:運用ルールで定めている。

Q:質問の仕方

A:1回目は演壇、2回目から質問席、ほぼ全員が一問一答。

Q:言葉として無いものの議事録記録は。

A:説明したうえで質問することを申し入れ。

○写真



②千葉県我孫子市

「議会運営の取り組み」（議員定数等に関する市民アンケート調査について）

○概要

平成24年3月に議会基本条例制定

○議員定数

適用一般選挙	S54	H11	H19	H23
議員定数	32人	30人	28人	24人
投票率	66.60%	56.13%	51.03%	50.25%

○議会運営

- ・議案等の配布時期を H15 年 6 月より招集日の 1 週間前の議運当日に。
- ・一般質問に H18 年 12 月より対面式演壇。
- ・一般質問の開会時間を 13 時から 10 時に変更
- ・H23 年 2 月から反問権
- ・委員会を H18 年 6 月から 1 日 1 委員会。常任委員会を 4 つから 3 つに変更

○議会情報の公開

- ・議会だよりを H23 年 8 月から紙面変更
編集は議会事務局職員が行う。
- ・本会議のインターネット中継を平成 16 年 9 月より、委員会は H23 年 9 月より。
- ・本会議の採決システムを H18 年 12 月から導入

○市民アンケート調査実施

調査期間：H29.11.1～11.30

調査方法：無作為抽出、アンケート用紙、市議会ホームページ、公共施設にアンケート用紙

回答数：1,172 件

主な質疑

Q:議会報告会について

A:議員定数は現状維持が多かったが、出席される方がだいたい同じ。

Q:議会報告会を土日にやっている理由

A:若い人が来やすいのではないかと思い実施

Q:報告書は誰が作ったのか。

A:事務局が作成した。

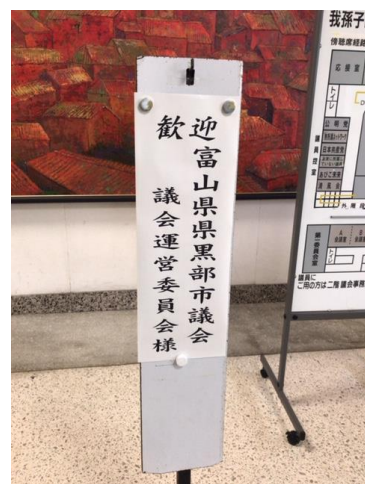
Q:アンケートの回答はどうするのか。フィードバックは。

A:議論がなかった。

Q:アンケートを実施してからの動きは。

A:特にない。

○写真



③千葉県柏市

「議会運営の取り組み」（議員の自由討議、議場での資料映像、スクリーンの活用について）

議員定数 36 人、6 会派、4 常任委員会、2 特別委員会、決算は特別委員会。予算は各常任委員会に付託。

議会運営員会 17 人以内、2 人以上の全会派が加入で 14 名で 1 定例会 3 回開催。全委員が加入しているので代表者会議は開催していない。

3 月定例会は代表質問

議案・請願陳情については、請願のみ委員会付託。陳情についても H12 年から陳情について写しを全議員に参考配布。当時 100 件の陳情があり、時間が割かれていたため、請願と同等でいいのかという意見があった。定例会期間は 3 月議会 23 日間、その他 20 日間。

H17 年代表質問、個人質問は同時に行う総括質問に。2 問目から一問一答。代表質問は 3 問制。31 時間を質問通告者で割っている。答弁を含めて最長 60 分。代表質問は、会派人数で配分し、2 人 60 分、3 人から 5 人 90 分、6 人から 8 人 120 分、9 人から 11 人 150 分、12 人 180 分

3 月定例会個人 38 時間から代表を差し引いて個人に配布

質問順番は、代表質問は大会派順で、個人質問は順番抽選。

○議会改革の主な取り組み

H20 年一問一答制

H22 年議場システム導入 賛否公開

H23 年議員間討議、執行部への反問権

H29 年議会だよりリニューアル

H30 年議場システム改修

○政策条例の取り組み

議会改革

政策立案のための環境整備全 6 項目

- ・本会議場、委員会室の利用、議会事務局の支援等

最近提出された議員提出議案

- ・柏市子ども医療費助成条例の制定についてなど 5 議案（すべて否決）

議員間の自由討議

議員提出議案、委員会提出議案、予算組み替え動議で行う。

議会だよりリニューアル

デザインレイアウト：事務局作成から委託業者、2 面～7 面：白黒から 2 色、企画：右開き、縦組を左開き・横組

議場システム改修

H29年度 カメラ等の改修

マイク・カメラ・ディスプレイを一括操作できるようにした。

大型スクリーン 書画カメラは、パソコンで演壇からの操作と事務局操作 2 通り出来る。プロジェクター使用申請は、本会議で資料を映し出すには、質問日 前日正午までに議長に許可が必要。

○主な質疑応答

Q：著作権・肖像権の確認は

A：議員の責任

Q：インターネット中継時は

A：スクリーンに映ったもの

Q：議員提出議案の対応

A：行政課出身の職員がいるので

Q：スクリーンに映し出すと質問時間は

A：各議員は工夫している。

Q：議員定数と政務活動費について

A：4 常任委員会を 4 で割れるように 36 名、月額 8 万円で無所属議員 5 万円。

執行率 68%

Q：議会だよりの質問ページの文字数。

A：会派人数+質問数で毎号違う。

Q：議会だよりリニューアルで委託費

A：予算 300 万円増

Q：機械の予備はあるのは

A：ない。

写真





所感

タブレット、スクリーンを活用することで映像や資料を映し出し、質問市民が見やすく分かり易いようにするための議会運営に努められているのが伝わってきた。市民アンケートを実施は、その後どうしていくのかが気になった。